

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 3 日

事務事業名		「道路ふれあい月間」美化清掃活動事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050302000373
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系	総合計画の施策名	0503 道路網の整備								建設課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり							課長名	
	施策名	03 道路網の整備							グループ	管理グループ
	手段名	02 ②市道の維持管理、危険箇所の改修							担当者名	
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	02	02	01	00	道路維持事業			
法令根拠	「道路ふれあい月間」実施要綱									
							単年度繰返し (平成18年度～)			
							↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、8月10日の「道の日」に道路利用者に対して道路の正しい利用や愛護精神の啓発を図るため、筑西土木事務所、茨城県建設業協会筑西支部、桜川市未来クラブ協同組合の協力のもと、筑西土木事務所管内の市町村 (結城市・筑西市・桜川市) 一斉に道路の清掃を行う。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①筑西土木事務所に連絡担当者で活動予定表の提出。 ②筑西土木事務所、建設業協会等の実施に係る打合せ。 ③桜川市未来クラブ協同組合と打合せ。 ④「道の日」に出発式を行い、桜川市内の道路清掃活動と作業車両に推進標語を掲示しPRする。 ⑤筑西土木事務所に実績報告書の提出。 ⑥広報紙でのPR。 ⑦国土交通省道路局への推進標語の活動事例の報告。 ⑧推進標語募集の積極的な広報としてホームページ掲載。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
・連絡担当者と活動予定表の提出打合せ ・清掃活動と実績報告の作成 ・広報紙でのPR ・国土交通省道路局への推進標語の活動事例報告		参加人数	人	140.00	140.00	170.00	170.00	170.00	
		清掃延長	km	79.00	79.00	79.00	79.00	79.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
道路利用者 (桜川市人口)		道路利用者 (桜川人口)	人	38,422.00	37,657.00	37,269.00	36,885.00	36,500.00	
		市道実延長	km	1,503.00	1,503.00	1,503.00	1,503.00	1,503.00	
		桜川市内県道延長	km	105.90	105.90	105.90	105.90	105.90	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
道路の正しい利用や愛護精神の啓発を図る。		使用ダンプ台数	台	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移				03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	0	0	0			
		事業費計 (A)	千円	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	13.00人	13.00人	13.00人			

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
合 計				0	合 計			0

(4) 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する		05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
		市内の道路清掃活動	市内の道路清掃活動	市内の道路清掃活動

事務事業名	「道路ふれあい月間」美化清掃活動事業	事務事業No.	50302000373	所属課	建設課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
道路の意義・重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高めることを目的として、昭和61年度から8月10日を道の日と定め、筑西土木事務所管内の市町村一斉に道路美化清掃活動を行っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
慣例化している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 安全で快適な住みよいまちづくりを目指す市の政策体系と結びついている。
有 効 性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 道路ふれあい月間の8月10日が「道の日」となっているため、県と桜川市ボランティア団体（未来クラブ）協力のもと、筑西土木西管内の市町村一斉に道路の清掃を行うことから、妥当である。
効 率 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がない 作業人員、日数を増やせば向上の余地はあるが、現時点では向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 事業を廃止することは、道路ふれあい月間としての趣旨が失われる。
公 平 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性ありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 類似事業はない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	☒ 削減余地がない 事業費はないので削減の余地はない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	☒ 公正・公平である 受益者負担金をとるものではないので、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	この運動は、道路利用者に、改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を美しく利用する機運を高めることを目的としている。安全で快適な道路環境を保持するため、「道の日」に合わせて道路清掃活動を行い、道路利用者へ道路愛護の精神を訴えかけていく。																		
②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 効率的な改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上 維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上 維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上 維持		○																	
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		☐	